

町民意識を尊重し 独自の施策を展開



町長 茂一郎
浅妻

(前略) 本町におきましても前年度末町債残高が三十二億一千四百万円を超える等、厳しい財政状況下におかれておりますが、私は新しい広域新潟圏時代を迎えた本町にあつて町民ニーズに的確に対応する為、基本的には投資的事業の確保、国・県事業の積極的導入を計る等、国・県との連携を保ちつつ町政を進めていく所存であり、つが、国庫補助金等の削減問題の続いている現状からして、これ以上本町独自の施策を行政各般に亘つてきめ細かく検討し、展開していく事が肝要と考えているものであります。こうした観点から本町の新年度予算編成といたしましては、国同様極力経常経費の節減、抑制に努めると共に、二万三千余人の町民の要望を充分ふまえ、固有の財源の確保を図りながら、本町におかれた立場や条件等を十分に反映すべく、町単独事業

業につきましても広範囲に推進することとした次第であります。
(中略) 町民意識の尊重を本旨とすべく新年度には、(仮称)新潟市合併検討委員会を設置させて、広く町民の意見を拝聴するためのアンケートの実施等によって、検討を加える等して本町の、理想的な都市計画に向かって前進いたしますことこそ、私に与えられた最も重大な使命、と肝に銘じ、町政の運営にあたる所存であります。
(中略) 町政執行の基本的姿勢といたしましては、基本的人権の尊重を基盤として「愛とおもいやり」「協調と融和」をモットーとして町民との対話の町政を積極的にすすめ、町民すべからず、住んで誇れる町、心豊かな隣人愛にみちた緑と潤いのある「まち」づくりの実現に向かって、渾身の努力をいたす所存であります。
(中略) 新年度予算編成に当たりましては、常に提唱しております、一・健康で、心のふれあう福祉社会の実現 二・快適と、やすらぎを与える生活環境の整備と充実 三・活力に満ちた、農工商業の振興と産業基盤の育成 四・文化、教育、スポーツの振興と施設の整備充実 を基本方針として、財源の重点的かつ効率的配分を行った次第であります。

三月定例会議会施政方針演説から

人件費12億円

総務費13億4380万9千円

(前年度比+6528万2千円)

総務費は予算総額の27.7%を占めます。大半は人件費で総額12億403万円です。町史編さん事業は本年度から本格的に執筆作業に入り、平成5年度に完了する計画です。本年度は資料目録を発行します。交通安全関係は、昨年度に引き続き関係団体の強化育成と交通安全施設の整備充実を努めます。また、仮称新潟市合併検討委員会が設置されます。

- ・特別職給料(町長、助役、収入役) 1810万8千円
- ・教育長給料 478万8千円
- ・職員給料(213人分) 6億1375万9千円
- ・職員手当など 3億4108万2千円
- ・共済費 2億1491万4千円
- ・町長交際費 339万9千円
- ・町史編さん費 1022万5千円
- ・仮称新潟市合併検討委員会委員報酬(20人分) 42万円
- ・広報などの印刷製本費 560万6千円
- ・交通安全対策費 2020万8千円
- ・自治会長委託料 820万3千円
- ・徴税費 2429万8千円
- ・戸籍住民基本台帳費 977万2千円
- ・参議院議員選挙費 272万4千円
- ・各種統計調査費 1144万5千円
- ・監査委員会費 146万1千円

高齢者サービス調整 チームを設置

民生費 2億8253万4千円

(+1714万1千円)

高齢者対策の推進に高齢者サービス調整チームを設置、一人暮らしのお年寄り世帯への緊急警報装置の貸与・入浴サービスを引き続き実施します。また、長時間保育への対応のほか、保育料を現行通りすえおきます。

- ・社会福祉負担金補助金交付金 1813万5千円
- {やひこ学園・社会福祉協議会・地域福祉、在宅福祉サービス推進事業等}
- ・保険基盤安定繰出金 1179万7千円
- ・老人福祉総務費 1041万2千円
- {敬老会経費、福祉電話・シルバーホーン設置、老人クラブ補助、広域養護老人ホーム負担金、長寿祝金、など}
- ・老人憩の家管理費 1177万4千円
- ・国民年金事務費 2426万3千円
- ・障害福祉費 873万7千円
- ・保育所改修工事費 694万2千円
- ・私立保育所補助金 698万7千円
- ・児童措置費 1億3934万6千円
- ・児童遊園維持管理費 202万3千円

健康づくり 推進

衛生費 3億763万6千円

(+3302万8千円)

町民の健康づくり推進のため住民の健診に積極的に取り組みます。各種予防接種、健康相談、健康展を実施し、健康に対する意識向上を図ります。環境衛生では自治会の防疫用薬剤購入、家庭下排水溝整備に補助。また、ごみ最終処分場の浸出水処理施設の補修改良を実施します。

- ・国民健康保険特別会計繰出金 500万円
- ・高額療養費資金貸付基金繰出金 400万円
- ・予防費 1864万5千円
- (各種検診委託料 1269万6千円)
- ・母子衛生費 1155万1千円
- ・環境衛生費 753万4千円
- ・老人保健特別会計繰出金 6641万円
- ・ごみ収集委託料 5009万6千円
- ・新潟地区広域清掃事務組合負担金 1億2265万7千円



健康展

山田小グラウンド整備 に5億円

教育費 8億4626万8千円

(+3億756万5千円)

学校教育では、長年の懸案であった山田小学校の屋外運動用地の買収とグラウンド施設整備と、建築後23年たった中学校の正面校舎の大規模改造を実施します。また、各小学校の施設設備の整備を図り、教育環境の充実を努めます。

社会教育関係では、生涯教育に重きを置き、各種講座などの開設・充実を図り、

町民へ参加をよびかけます。特に健康づくりに意を注ぎ、体育協会への補助金増額、体育施設の改善を行うほか、高齢者スポーツ振興を推進します。

- ・教育委員会費 1741万7千円
- {私学補助金 150万円}
- {黒崎高校振興会補助金 125万円}
- {奨学生貸付金 120万円}
- ・小学校学校管理費 9069万1千円
- ・小学校学校建設費 5億2349万8千円
- {山田小学校整備工事費 3095万6千円}
- {山田小学校用地買収4億9191万5千円}
- ・中学校学校管理費 2530万7千円
- ・黒崎中学校校舎大規模改造工事費 8755万円
- ・公民館費 1696万9千円
- {各種委員の報酬、各種学級講座講師謝礼、各種団体への補助金など}
- ・文化財保護費 253万8千円
- ・青少年問題対策費 197万6千円
- ・図書館費 871万8千円
- ・社会体育費 2577万6千円
- (体育施設改修工事費) 525万3千円
- ・学校給食費 2127万7千円

商工会との共催で 観光開発

商工費 1億8738万7千円

(-216万7千円)

商店街育成のため、共同駐車場の借上料、街路灯の占用料などに引き続き助成し、さらに商工会への補助金を増額します。商工業者の資金対策として、産業育成資金、商工業近代化資金の貸付融資わくの拡大を図り、持家住宅建設資金貸付制度も引き続き行います。観光開発では「新潟ふるさと村」が平成三年四月オープンを目指し計画されていますが、町は商工会との共催で商工観光開発事業を実施し、特産を生かした観光土産品の開発などを進めます。

- ・黒崎町商工会補助金 800万円
- ・駐車場借上料補助金 41万6千円
- ・露店市場管理運営委託料 123万6千円
- ・商工観光開発事業委託料 67万円
- ・産業育成資金貸付金 7700万円
- ・商工業近代化資金貸付金 3000万円
- ・持家住宅建設資金貸付金 2481万円
- ・産業育成資金県貸付金元利返還金 3789万円



観光物産センター予定地



山田小学校